

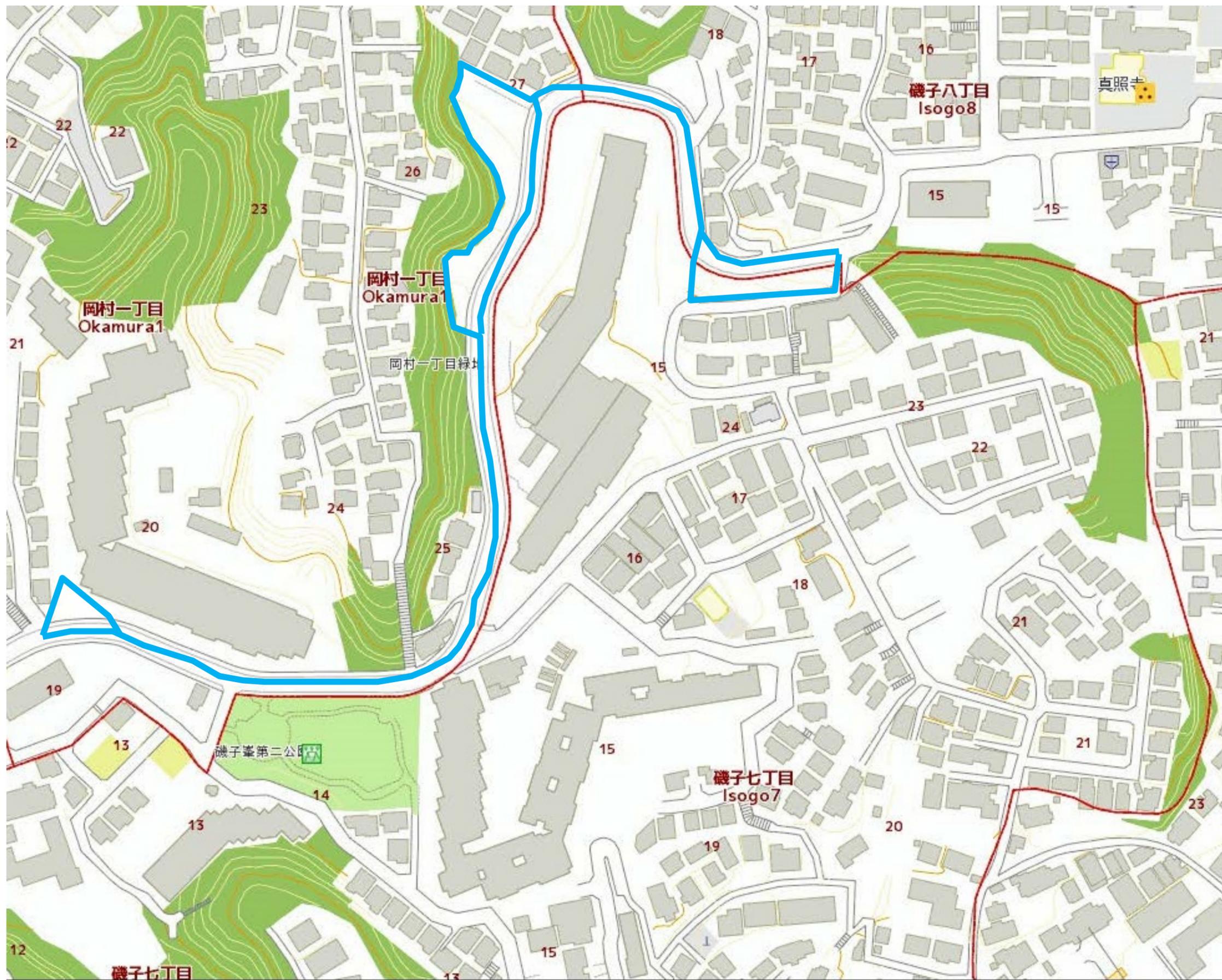
磯子・岡村地区 地域緑化計画書

計画名：花香る緑の坂道計画

推進団体名：みどりアップの会



地区の範囲

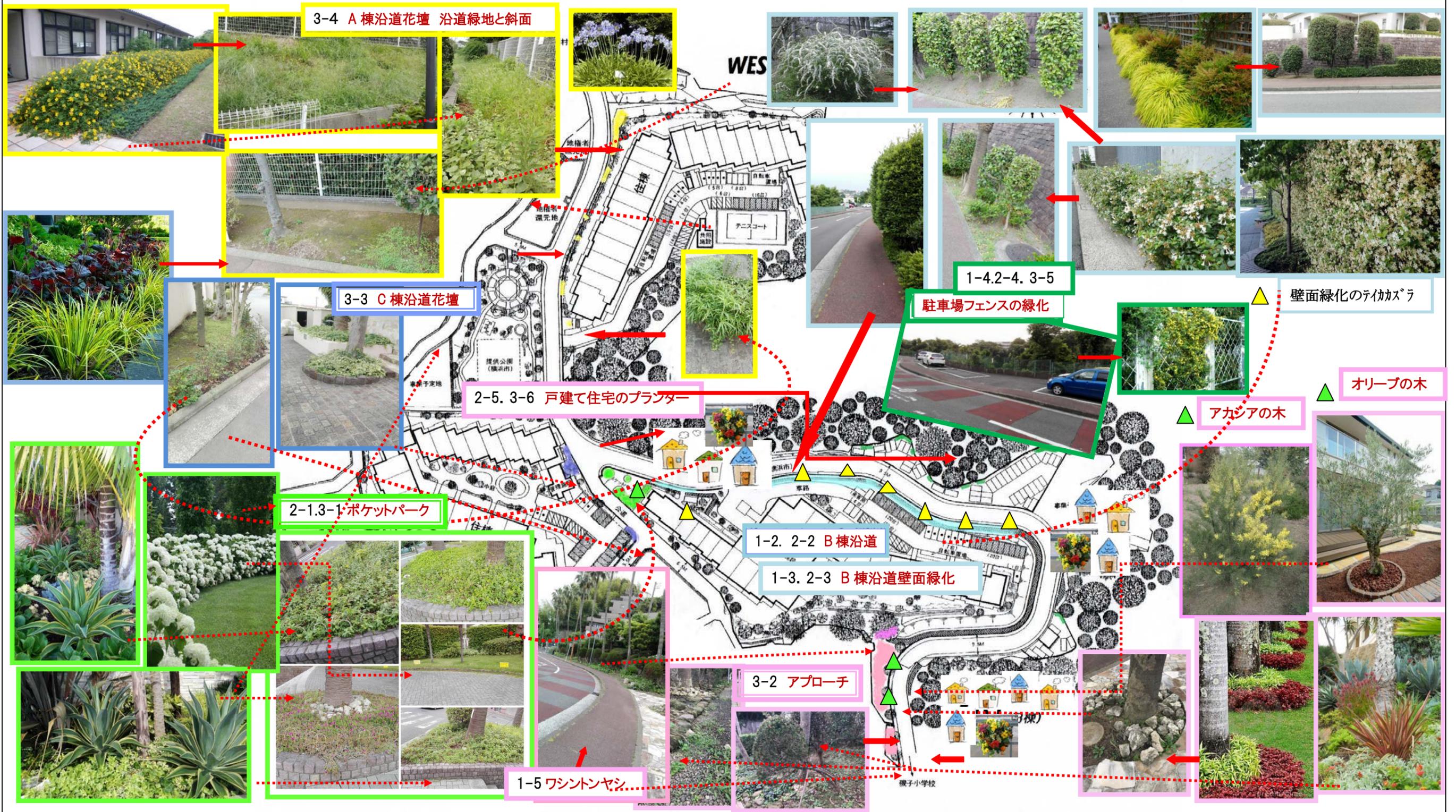


※地区の範囲は、マンション前の沿道とし、一部、マンション敷地を含む範囲とする。

<p>計画期間</p>	<p>平成29年度 ～ 平成31年度</p>
<p>課題及び背景</p>	<p>丘の上に建つヤシの木がシンボルの南欧風マンション。そこに住む243世帯の住人とその近隣の居住者が通勤、通学、買い物、ジョギングと毎日利用する長くて険しい坂道。その沿道の緑地は、26年前の新築当時のまま時間が止まっている。太くなり過ぎた高木が歩道を狭くし、坂の下からスピードを上げて走って来る車からの見通しが悪いばかりでなく、狭くなった歩道は小中学校の子供達のスクールゾーン。ヒヤリとする場面も珍しく無い。そして高齢化はこの地域も例外では無く、坂の途中で買い物の荷物を置いて息を整える高齢者の姿も見受けられ、居住者に配ったアンケートを見てもそれは共通した課題だという事が分かった。又、花が無く、彩りと四季折々の季節感を感じる事が無い沿道。高い石の擁壁がそびえ立ち冷たい印象という事も地域の人々の共通認識であった。</p>
<p>計画の概要</p>	<p>1. 安心して歩ける「安心・安全」な坂道にする。歩道を狭くし視界を遮る月桂樹の木や椿の木を移設して低木に変える 2. ヤシの木の雰囲気に合った植栽で各棟の統一感を出し季節毎に咲く香りのある花の低木・中高木・カーリーフ・多年草を植え季節感と彩りを生み出す。 3. 石の擁壁の所々に香りのある花が咲く常緑ツル性植物を植える。目の高さ一面に緑と花が飛び込む壁面とする。 4. 駐車場のフェンスを緑化する。殺風景なエリアに緑の面積を作る。 5. 土の露出している場所を全て緑化する。緑の量アップと雑草対策 6. 戸建て住宅の玄関前にプランターやバギングで彩りをアップさせる。 7. 長く険しい坂道に憩いの空間を！ベンチを設置し荷物を置いて腰を下ろし一息付ける休憩ポイントを設ける。 8. 各棟のエリアに散水整備をする。 9. 地域に対して愛着を持てるような活動をする。各計画場所で一部の木や苗を植える作業を住人が一緒に行う。植物の名前と性質を学び、選定作業をする。全ての植物のネームプレートを作って住民が設置する。</p>
<p>課題解決及び効果</p>	<p>危険で安心できない要素を持ち、彩りの無い坂道。休む所も無く続く長い登り坂。車からも歩行者からも見通しがきく安心して歩ける沿道となり、綺麗に咲く花や緑が増え季節を楽しむ事ができたら、どんなにか心が和む事でことでしょう！買い物袋だけでは無い重い足取りも少しは軽くなるはずです。この日常の当たり前の生活が花や緑によって変わるとしたら、その変化は、地域の人々の心に響き花や緑への関心につながると期待する。そして変化した場所だけに留まらず他の場所へと広がりをもたらすこととなる。隣接する「峯第二公園」は、月に一度清掃活動に従事する住人やここ2年花壇のリニューアルに懸命になった主婦6人ばかり。花や緑への興味・関心を自らが維持する活動へと促し、継続する事で活動メンバーを増やし人の輪が作られ世代間交流の場となる。活動場所が少しずつ広がる事で緑アップ活動は加速し地域は活性化されていく。他の地域の人々が散歩に来たくなる「花香る坂道」となる事を切望する。</p>

計画年次	計 画 内 容
1年度目 (平成 29 年度)	<p><民有地緑化整備> 1. 沿道緑化整備：設計業務</p> <p>2. 散水栓整備 (A棟・B棟・C棟・アプローチ)</p> <p>3. A棟 沿道 (斜面・緑地・花壇) (高木・中木・低木・常緑多年草・ツル植物)</p> <p>4. B棟 沿道 (3分の1程度) (高木・中木・低木・常緑多年草・ツル植物)</p> <p>5. B棟 沿道 既存樹移植 6. 駐車場フェンス緑化 (2分の1程度) (中木・低木・ツル植物)</p> <p><地域緑化活動></p> <p>1. 資材購入 (資材倉庫・リヤカー・シャベル・スコップ・作業テーブル)</p> <p>2. 広報活動 広報誌の発行 1回</p> <p>3. ガーデニング講習会の開催 (1回)「春の寄せ植え講習会」</p>
2年度目 (平成 30 年度)	<p><民有地緑化整備> 1, 沿道緑化整備：設計業務</p> <p>2. A棟沿道 (緑地・花壇 (残り) (高木・中木・低木・常緑多年草・ツル植物)</p> <p>3. B棟沿道 (残りの3分の2) (高木・中木・低木・常緑多年草・ツル植物)</p> <p>4. C棟沿道 (緑地・花壇) (一部) (中木・低木・常緑多年草)</p> <p>5. 駐車場フェンス緑化 (一部) (中木・低木・ツル植物)</p> <p>6. 戸建て住宅 (プランター・ハンギング)</p> <p><地域緑化活動></p> <p>1. 資材購入 (土・肥料・苗・球根など)</p> <p>2. ガーデニング講習会の開催 (年2回 春・秋)</p> <p>3. 広報活動 広報誌の定期発行 (年3回)</p> <p>4. 定期的な緑化維持活動 「Green Study Tour」 (年3回)</p>
3年度目 (平成 31 年度)	<p><民有地緑化整備> 1. 沿道緑化整備：設計業務</p> <p>2. ポケットパーク (中木・低木・常緑多年草)</p> <p>3. アプローチ (高木・中木・低木・常緑多年草)</p> <p>4. 駐車場フェンス緑化 (一部) (中木・低木・ツル植物)</p> <p>5. C棟沿道 (緑地・花壇) (一部) 中木・低木・常緑多年草)</p> <p>6. 戸建て住宅 (プランター・ハンギング)</p> <p><地域緑化活動></p> <p>1. 資材購入 (土・肥料・苗・球根など)</p> <p>2. ガーデニング講習会の開催 (年2回 春・秋)</p> <p>3. 広報活動 広報誌の定期発行 (年3回)</p> <p>4. 定期的な緑化維持活動 「Green Study Tour」 (年3回)</p>
資金計画	<p>当マンション管理組合理事会にて (9/24) 本計画の一部負担について承諾を得ている。計画期間終了後の活動資金に関しては、現状の植栽年間予算と照らし合わせながら、理事会植栽委員とみどりアップの会と協議を重ね、必要に応じて理事会の承認を得て予算化するように努める。又、同好会や自治会組織の婦人部・子供部・高齢者の会とのコラボ企画で一緒に行う。ガーデニング講習会などで多少の参加費を徴収し、今後の資金とする。公園愛護会同様に自治会イベントのフリーマーケットへの参加によって活動資金の調達と活動報告・宣伝の場とできるように検討する。</p>

<p>計画期間中の活動 について</p>	<p>1. 会の定例会を開催（1回/月）し、活動の計画と報告・予算・会計・広報について意見交換、情報交換、役割分担の場とする。</p> <p>2. 広報活動として広報誌の発行（3回/年）と掲示板（各棟3箇所）へポスターを掲示し、この活動を広く知ってもらうツールとする。広報誌には、計画場所のBefore⇒Afterなどの完成予想図と全ての植物の名前・特徴を数回に分けて掲載し関心を持って貰う。活動日や活動内容の告知・活動報告を写真で掲載。参加しなかった方も知る事ができるようにする。</p> <p>3. プロ講師によるガーデニング講習会（2回/年）の開催。施工業者さんによる「GreenStudyTour」（3回/年）を開催し、植物を一緒に見て歩き名前や特徴と手入れ方法のレクチャーを受け剪定などの管理を各自でできる事を最終目標にする。</p> <p>4. 愛着が持てるように、計画実施時の花木や苗の一部を一緒に植える。</p> <p>5. 一人一つの植物のネームプレートを作り設置に行く</p>
<p>計画期間終了後の 活動について</p>	<p>1. 計画期間中から当マンション理事会と「みどりアップの会」との位置づけについての議論を続け、計画期間終了後は、理事会傘下の中長期にわたる植栽管理部門として更なる良い環境を維持できるよう検討・実行できる地盤を作る。</p> <p>2. 高まった花や緑への関心が継続できるように、興味が持てるガーデニング講習会の企画を考える。</p> <p>3. 季節毎に多年草の手入れや補植、球根などを植える作業を計画し、それらを、公園愛護会とのコラボ企画や自治会のイベントとして、子供部、婦人部、高齢者の会とコラボをしてそれぞれのニーズに合わせて楽しめる企画内容を検討しそれぞれ世代ごとに参加しやすい形態を作る。</p> <p>3. 花と緑の地域の「発信拠点」である峯第二公園にて既に実践している近隣の小中学校の課外活動（草取り、ごみ拾い、堆肥すくい、球根植え）と一緒にやる。</p> <p>4. 近隣住民には、引き続き声かけをしてイベントなどへの参加をして貰う。</p>
<p>組織づくり</p>	<p>毎月一回の定例会に参加をして組織の運営に係る会員と、できる時にできる事をする！メンバー「サポーターズ制度」という制度を設ける。都合がいい時に講習会や活動イベントに気軽に参加できるメンバーの二層構造にする。サポーターズ会員は、事務局にメールアドレスを登録し随時活動予定や詳細をメールで一斉送信。参加の有無を返信して貰う。他に活動報告や植物の写真を送るなどタイムリーに情報をキャッチできるようにする。運営に興味を持ったメンバーには随時定例会に参加して貰い意見などを聞く機会も積極的に取り入れて組織の層を厚くする</p>
<p>創意工夫</p>	<p>この地域には、当マンションと隣接する峯第二公園がある。二年前の2月に公園リニューアル時の苗植えに参加した主婦6人は、手つかずの花壇を花で美しくする為に、手に鍬を持ち土を耕した。花壇では、季節ごとに色とりどりの満開の花でいっぱいになった。公園に散歩に来る人は増え、花壇の花を眺める姿も見られるようになり、当初の目標の犬の糞も減った。作業中に声をかけられる事もしばしば。自宅の増えすぎた花を育てて欲しいと持ち寄る方もいた。知らないご近所の方々と「花」と「活動」を通じて言葉を交わす事の楽しさを実感した。そんな経験を通じて峯第二公園から発信されたムーブメントは、地域へと広がって行き、「花と緑の発信拠点」である公園に戻って来る。そんな循環が人の循環へとつながり広がって行くことを期待する</p>



概算事業費（単位：千円）（注1,5）

助成項目	細目	1年度目（平成29年度）	2年度目（平成30年度）	3年度目（平成31年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	1357	1410	1,390	4,157	100%以内	
		(主な内容) 民有地緑化の設計	(主な内容) 民有地緑化の設計	(主な内容) 民有地緑化の設計			
	②緑化整備等経費 (注2)	3428	3640	3560	10,628	90%以内	
		(主な内容) 散水整備 (A棟・B棟・C棟・アプローチ) A棟沿道 (斜面・緑地・花壇) B棟沿道 (緑地の一部) B棟沿道の既存樹移植・駐車場のフェンスの緑化	(主な内容) A棟沿道 (緑地・花壇・残り) B棟沿道 (緑地・残り) 駐車場フェンスの緑化 (一部) C棟花壇 (一部) 戸建て住宅のプランター・ハンギング	(主な内容) ポケットパーク・アプローチ 駐車場のフェンスの緑化・C棟植栽・花壇 (一部) 戸建て住宅のプランター・ハンギング			
合計額 (注9)	概算事業費	4785	5050	4950	14,785		
	(助成見込額)	(4285)	(4550)	(4450)	13,285		
2 景観木保全	①調査費	0	0	0	0	100%以内	
	②診断書作成費	0	0	0	0	100%以内 (上限20千円/本)	
	③治療費	0	0	0	0	③と④は各景観木1本につき、合計50千円以内	100%以内 (上限50千円/本)
	④環境整備費	0	0	0	0		100%以内 (上限50千円/本)
	合計額 (注9)	概算事業費	0	0	0	0	
(助成見込額)		(0)	(0)	(0)	0		
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	200	200	200	600	①～④の合計 1,000千円以内 /年度	100%以内
	②広報・研修費	100	200	300	600		100%以内
	③事務費	20	30	30	80		100%以内 (上限100千円/年度)
	④諸雑費	10	20	20	50		100%以内 (上限40千円/年度)
	合計額 (注9)	概算事業費	330	450	550	1,330	
(助成見込額)		(330)	(450)	(550)	1,330		
年度ごとの合計 (注4,6,7,8)	概算事業費	5115	5500	5,500	総合計	16,115	1～3年度の合計5,000千円以内/ 年度
	(助成見込額)	(4615)	(5000)	(5000)		14,615	

- (記入時の注意事項)
- 注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。
 - 注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金を用意できることが助成金交付の要件となります。）
 - 注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。
 - 注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は1年度につき5,000千円が助成金額の上限となります。（3年度総合計の助成金額の上限は、15,000千円です。）
 - 注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）
 - 注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。
 - 注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）
 - 注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（29年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）
 - 注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、（）を付けてください。